

市政を問う!

11 議員が登壇 (一般質問)

県道河陰阿蘇線の増加する通行量の対策は



五 嶋 義 行

草原特区の進捗について

五嶋 草原保全の目的で野焼きをシンプルにする為に草原特区を活用し保安林の指定解除を進めると言われてきたがその進捗状況は。

荒木まちづくり課長 保安林の指定は県知事案件になっており、県との協議が熊本地震の影響で中断しています。再開次第、特区を活用した野焼きのシンプル化に向けた協議を県と進めます。

スクールバスの更新計画について

五嶋 学校統合によりスクールバスの台数も増えたものと思われるが古いバスの更新計画は。

日田教育課長 スクールバスも老朽化が進んでいますので、平成30年度に波野小学校のマイクロバス、平成31年度に阿蘇中学校の中型バス2台を更新予定です。

五嶋

ミルクロードと県道菊池赤水線については、国道並みの管理がなされ、かたや本路線の対応は鈍いように感じられる。県にもっと強く要望し優先した対応が図られるよう求めるが。

建設課長

利用率の高い道路でありますので、優先して管理頂けるよう要望して参ります。



県道河陰阿蘇線

福祉政策の将来を見据えて



田中 弘子

田中 阿蘇市内の児童養護施設、老人施設の内容は。

本山福祉課長 阿蘇市内に児童養護施設はありません。児童養護施設は保護者のいない児童や虐待等を受けている児童など、生活、学習指導、家庭環境の調整を図りつつ、児童の心身と健全な成長、自立を支援することを目的とした施設になります。管内において対象となるような児童がいた場合は、相談所と連携し、必要であれば、県内に12在る児童養護施設への入所という対応になります。養護老人ホームについては、基本的に措置費は阿蘇市が負担します。1人当たり1箇月20万円程度の費用で、これについては、6割が交付税対象となります。個人負担も収入に応じて決定されますが、経済的に厳しい方が入所の対象となります。

田中 特別養護老人ホーム、経費老人ホーム、民間有料老人ホーム、介護保険上のグループホームとは。

藤田ほけん課長 特別養護老人

ホームと介護保険上のグループホーム等は介護保険が適用されますので、居住、入居費が安くなります。民間有料老人ホームについては、12万円から30万円程度になります。経費老人ホームについては、入居費用が比較的安価なので、有料老人ホームより安く入居できます。介護保険施設については市内に4施設あります。定員188名、費用は4万円から14万円程度の幅があります。

田中 高齢者（65歳）以上の人数は。

ほけん課長 平成29年10月31日現在で、65歳から70歳までが3,025人、71歳から80歳までが3,320人、81歳以上が3,380人で合計9,725人となっています。



社会福祉法人「致知会」が建設中のあそ上寿園

無償譲渡を受けたキャンプ場の活用はどうする



園田 浩文

園田 南宮原地区の熊本市阿蘇教育キャンプ場の無償譲渡の経緯を。

日田教育課長 阿蘇教育キャンプ場は熊本市内の中学校の生徒2万4千人、一般の方が2千人程度の利用があり、熊本市から「九州北部豪雨災害後に土砂災害警戒区域が指定され、宿泊の際に安全確保がとれない。」「阿蘇市が譲渡を受けない場合は公売をする。」この2点の話があり、無償譲渡を受ける方向性を決定、8月1日付けで登記を済ませています。

園田 キャンプ場の施設概要は。

教育課長 総面積約13ha、10人用テント57張り、管理棟2階建て630㎡、事務室、医務室、シャワー室、炊事場6箇所、屋外トイレ5箇所、ハイキングコース等、一度に570名程度の方々を収容可能となっています。

園田 今後の利活用は。

教育課長 これまでの熊本市の管理は、昼間の常駐2名、夜間対応1名。中学校宿泊の場合4〜5人常駐でローテーションを組んでいたようです。草刈り等は地元南宮原に委託

しています。現在、関係課と利活用を検討中です。

秦観光課長 13haの用地に対して採算性の問題もあり、専門家等の意見を聞きながら検討して参ります。

荒木まちづくり課長 大雨警報発令時の対応等で旅行商品としては厳しいと思います。観光課、旅館組合等の関係機関と十分協議し有効活用を考えて参ります

人口流出に対する遊休地の分譲について

園田 市営住宅跡地等、定住希望の市民へ廉価に融通出来ないか。

山口財政課長 人口減については、若者を中心とする市民の定住化が喫緊の課題であると認識しています。廉価での公有地利用（売却）は議会の承認も必要ですが、今後も検討を重ねていきます。



旧熊本市立あそ教育キャンプ場管理棟

農地等の災害復旧工事の進捗状況は



菅 敏 徳

菅 熊本地震により農地の崩壊や陥没、土砂流出等により作付け不能となった水田の総面積は。

佐伯農政課長

平成28年に約210ha、29年については約130haとなっており、内訳としまして県営事業が14工区、17工区の約70haで市の施工分は約60haとなっています。

菅 市の災害復旧工事60haのうち発注率が約70%で非常に厳しい状況という報告を受けたが。

農政課長

早期に作付けが出来るよう全力で進めているところですが、業者の人材不足や重機不足等が続いているような状況で、農家の方々にご迷惑をお掛けしております。農地の自力復旧や小規模な農業用水路、農道の早期復旧においては復興基金による補助事業もございません。引き続き周知を行い、本事業を活用され1日でも早い営農再開ができますよう図って参ります。

菅

小里用水の災害復旧工事が未

だ着手されていないようだが、工事の進捗状況は。

農政課長

今町のサイホン（河川を占用する水路）の復旧工事は、平成30年3月末を目途に竣工予定です。また、被災した4箇所の水路の内2箇所は既に発注済みで残りの2箇所は宅地の部分と隣接して一帯が沈下しており時間を要するため、仮設という事で対応せざるを得ないような状況です。よって、現在、地元組合と協議を進めているところです。

他に「阿蘇山上観光の今後の方向性」等の質問がありました。



17工区の復旧状況

道路整備の状況について問う



井手 明 廣

井手 県道内牧坂梨線の道路整備で、手野から北坂梨、また、滝室坂道路の改良工事で、現在、手野2の1、また、三野3の1の工事は発注されているが、手野2の2、北坂梨区内の工事の見通しは。

中本建設課長

県によると一の宮温泉センター北側の工事が発注され、現在、工事中で、三野工区も一部を発注しており、平成30年度の完了を目指しています。北坂梨工区については、平成27年度から用地買収を進めており、平成29年度中には一部工事を発注すると伺っています。滝室坂道路関係は平成29年11月から用地買収を進め、境界立ち合いを実施しているようです。

井手

市道池田赤溝線が残り300mの工事を含め、全線開通となるまでの見通しは。

建設課長

現在、残りの用地交渉を進めており、了解はいただいております。買収を終えた箇所から順次工事に入り、平成30年度内の完了を目標にしています。

荒廃した農地について

井手

阿蘇市内に在る荒廃した農地面積は。

園田農業委員会事務局長

全体で17.5haを確認しています。

井手

その対応について、市はどのような指導を行っているのか。

農業委員会事務局長

農家に対して小作に出されないう等、耕作を続けられるようお願いをしています。

井手

草刈や耕運等の管理をおごそかにすると、隣接する建物等に火災等の影響を及ぼすこともあるので、厳しい指導を。

農業委員会事務局長

農業委員または適正化推進委員に申し伝えます。



三野地区